

第一内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 肺末梢病変に対する EBUS-GS 併用経気管支鏡下針生検の有用性の検討

[研究機関] 北海道大学病院第一内科

[研究責任者] 品川 尚文（第一内科・助教）

[研究の目的]

ガイドシース併用気管支腔内超音波断層法（EBUS-GS）を肺末梢病変に対して使用し、EBUS プローブを病変の辺縁にしか誘導できない患者さんにおいて、経気管支針生検を追加することで診断率の向上に寄与するかどうかを検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年10月から2010年2月に当科にてEBUS-GSを施行し、EBUSプローブが病変辺縁にしか到達しなかった患者さんのうち、同じ肺末梢病変に対し経気管支針生検を追加した患者さん。ただし、期間を2010年6月まで延長する可能性があります。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、検査結果（胸部CT、胸部レントゲン写真）、気管支鏡検査の結果（病理組織、細胞診、培養検査の結果、EBUSの画像所見、検査時間）、気管支鏡による診断名、最終診断名

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目

北海道大学病院第一内科 担当医師 品川尚文

電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899